

ホテルが飛び交う地域をめざし
本村で新潟県ホテルの会総会開催

7月6日、横越村農村環境改善センターで第8回新潟県ホテルの会総会並びに講演会が開催されました。

同会（中川七三郎会長）は、ホテルの保護・育成などを目的に活動しており、現在県内には約100名の会員が登録。本村でも、ホテルの復活をめざし約60名が横越ホテルの会（高橋一夫会長）に入会し活動しています。

総会では、事業報告等がなされたほか、活発な意見交換が行われ、終了後は横須賀市自然博物館学芸員理学博士の大場信義氏が「ホテルから見た身近な人里」と題した講演を行いました。

村でもホテルの復活事業に力を入れるべく、北方文化博物館裏の木立の中に8月中旬より、農村アメニティ事業による「ホテルの里」を建設する予定としています。



新潟県ホテルの会副会長永島氏が挨拶

横越オールスターズが優勝
シニアバスケットボール横越大会開催

生涯スポーツ振興の一環として、7月14日に総合体育館で、村体育協会主催のシニアバスケットボール横越大会が開催されました。

参加5チームにより争われましたが、さすが往年の名プレイヤー達だけに随所に好プレーが見られましたが、時々珍プレーもあり、和気藹々の中で試合が展開されました。

結果

- ・新津 37-34 亀田 ・亀田 35-35 新発田
- ・新発田 41-28 豊栄 ・横越 50-31 豊栄
- ・横越 44-20 新津

優勝 横越オールスターズ
準優勝 新発田エルダース



緊迫した瞬間

まちづくりにはアイデンティティが必要

～ 商工会20周年記念講演会開催 ～

7月12日、横越村商工会館で商工会主催の20周年記念講演会が開催され、約40名の参加がありました。

講師には、(株)エコワールド代表取締役の黒田武儀氏をお招きして「地域振興って何（まちづくり講座入門）」と題した講演が行われました。

まちづくりには、その市町村の個性であるアイデンティティが大切。アイデンティティとは、そこにしかないもの、そこにいる人々が元気になるようなものであり、それは新たに造るものではなく、今あるものを大切にすることで、それを見つけれられるのは、まちづくりの主役である住民であるとの内容でした。



黒田氏による元気が出る内容の講演会

食中毒予防に
村内で巡回指導等を実施

7月16日から8月15日の食中毒予防月間にさきがけ、15日、横越村食品衛生協会、村、商工会による食中毒予防パレード及び飲食店の衛生状態などの巡回指導・検査が実施されました。

これは、食中毒が多発するこの時期に合わせて毎年行われているもので、手洗いの励行や食品の衛生的な取扱いなどを指導。特に今年はテレビやラジオ等のマスコミで知られている大腸菌O（オー）157による小・中学校の集団食中毒事故が全国で相次いでいるために、村内の飲食店の巡回指導や一般の方々の呼びかけにも力が入り、検査もまな板や包丁などの食器類の清潔度や食品の保存状態を入念に確認していました。



食中毒予防パレード

さようなら エリン・ホワイトさん

よこごし国際交流協会がお別れパーティー

7月17日、中央公民館でよこごし国際交流協会主催の「エリン・ホワイトさんとお別れパーティー」が開催されました。

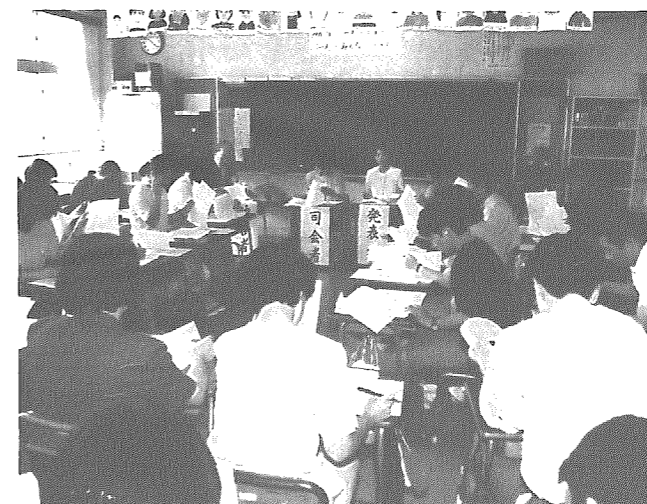
エリンさんは、2年前の秋にアメリカのシカゴより来村し、横越中学校の英語指導助手、中央公民館の英会話教室の講師として活動されるなど、村民の方々とは馴染み深かったのですが、この度、本国の大学院で海岸海洋学を学ぶため帰国することになりました。

パーティーでは、お世話になった中学生等を含む25名から片言の英語まじりの感謝の言葉が述べられた後、参加者によるアメリカ国歌の合奏が行われ、エリンさんから、日本にいる間に練習した琴の演奏が、お返しとして奏されました。

エリンさんの横越村の印象は「とても元気で、パーティー好きな人達が多い」でした。



参加者によるアメリカ国歌の合奏



熱心な討議が行われた分科会

教育の在り方を検討しよう

～ 横越小で三市中蒲地区PTA研究集会開催 ～

7月7日に横越小学校で「第22回三市中蒲地区PTA研究集会」が開催され、地区内の62校の小中学校から、約350名のPTA会員の方々が集いました。

各テーマごとの分科会では、登校拒否やいじめの問題、家庭内の心の触れ合いなどについて、熱心な討議が行われました。

昼休みには、横越民謡連盟の方々によるアトラクションを挟み、その後、下越教育事務所の羽田野社会教育課長から、今後のPTA活動の在り方についての全体指導がありました。

最後に、北方文化博物館の伊藤館長から「日本人らしく生きる」と題した講演が催され、深い感銘にひたりながら一日の日程を終了いたしました。